

新春所感

社団法人 岡山県畜産会 会長 惣津律士

読者の皆さん、明けましておめでとう存じます。

新春を迎えると、だれでも気分が一新して今年こそ立派にやりぬくぞと決意するものです。農村がますます深刻な様相を示している今日であるだけに、私は限りない希望をこの新春にもつことが何より大切であると考えております。

成長産業のホープとなった畜産も悩みは果なしの感がありまして、関係者はひとしくその対策に苦慮しております。私達があれだけ期待をもっていた養鶏についても、御承知の通りであり、農家が折角丹誠して創り出した畜産物の価格が不安定なために、畜産への意欲を減退せしめている現実を見ますと、何んともいえない焦慮感を味うのは私だけではありますまい。しかも昨年からの畜産の状況を見ると、価値の保証だけではどうにも経営がやり難い状態になっております。

そこで根本問題の解決ということで、畜産の基本方策の確立について、農林省はもとより関係機関によって立案されておまして、私共はそれは大きい期待を持っておりますが、私共が構造改善事業を通じて感じ、要望して止まない農業経営に必要な基盤整備を国の力でやる事に、本年こそ決意して戴きたいのであります。これを農家にやらしていたのでは、農業経営の近代化はなかなか望むべくもありません。更に営農に必要な長期低利の資金を農畜に供給して戴きたいのです。現状は利息を払うのにやっとの経営状態にあるものが多いことは国も県も承知のはず

です。補助政策で、新規事業に農民の目を向けさずよりも国、県の力で思い切った利子補助を本年こそ踏み切ってもらいたい。

百の名言よりも、地味な足がためから出発することが、結局農業近代化への近道であることを関係者は、再認識すべきでしょう。

併し乍ら何はともあれ、私共は先づ己の姿勢を正しくする事が肝要であることを痛感しております。最近では責任の所在が不明瞭で、おかく勝手な行動が取られ勝ちのような気がしてなりません。農村の現状が不安定といえは無理からぬことと思えますけれども、各自の足を今こそじっくり地につけて、一丸となって一步一步前進すべきと思います。それについても若い農業経営者の養成教育が緊要である事を考えざるを得ません。己の研修を私は私なりに本年努めるつもりでおります。皆さんの御健勝を祈ります。

